



れきぶんイベントのおしらせ

※コロナウイルスによりイベントが中止になることもあります



2023年
1月～3月

博物館がお休みの日

1/3 (火)、1/16 (月)、2/6 (月)、2/20 (月)、3/6 (月)、3/20 (月)

※1/1と1/2は10:00～18:00まで開いています。

正月のイベント

すべて0円 (で参加することができます)

1/1 (日) ～ 「れきぶんおみくじ」

8:30～18:00 2階展示室入口

観覧料が必要です

※長崎県の大学に行っている留学生、小学生、中学生は0円 (で見ることができます。)



留学生は学生証明書が必要です。

れきぶんにある縁起のよい (おめでたい) ものに関係する、オリジナルの「おみくじ」があります。

※おみくじは、なくなると終わりにします。

1/2 (月祝) 「パフォーマンス書道」

11:30～ / 15:00～ 1階エントランス

パフォーマンスをする人
長崎県立長崎西高等学校書道部



パフォーマンス書道は音楽にあわせて大きな紙に墨で文字をかきます。

1/2 (月祝) 「書初め」

13:00～14:30 2階立山亭

和紙に墨で文字をかく「書道」の体験もすることができます。一年のはじめに文字を書くことを「書初め」といいます。



1/8 (日) 「新春初弾」

13:00～14:00 1階エントランス

演奏する人: hミュージック
鎮西学院高等学校箏曲同好会 (文化庁邦楽普及拡大推進校)
長崎日本大学高等学校・中学校音楽部

日本に昔からある楽器「箏」の演奏を聞くことができます。

1/8 (日) 「津軽三味線の演奏」

15:00～16:00 1階エントランス

演奏する人: 津軽三味線石井流秀歩会
西方小天鼓 (和太鼓)

日本に昔からある楽器「三味線」の演奏を聞くことができます。

1/9 (月祝)

れきぶんミュージアムコンサート 「ニューイヤーコンサート」

15:30～
1階ホール 人数: 70人

演奏する人 長崎県新演奏家協会
フルート: 岩崎梓、本多史佳
ピアノ: 中村卓士

フルートやピアノの演奏を聞くことができます。



ものをつくる

つき 月イチワークショップ

1階エントランス

1/7 (土) 「和紙のMYしおり」

13:30～16:30 1つ50円 (で作ることができます)

日本で伝統的に使われてきた紙、「和紙」を使って、本にはさむ「しおり」をつくります。



2/5 (日) 「ポスターバッグをつくろう」

13:30～16:30 1つ100円 (で作ることができます)

博物館で使わなくなったいろいろなポスターを使って、紙袋を作ります。



3/5 (日) 「春のお花のとびだすカード」

13:30～16:30 1つ50円 (で作ることができます)

開くと中のかざりが飛び出すメッセージカードを作ります。



2/3 (金) 「奉行所節分豆まき」

16:30～17:00

長崎歴史文化博物館 奉行所書院・玄関

玄関の豆まきは、0円 (で参加することができます)
※書院に入るためには、観覧料が必要です

昔の人は病気や悪いきごとは、鬼が起こすものだと考えていました。季節が変わるときに、この鬼を追い払う行事を「節分」といいます。追い払うときには「鬼は外、福は内」と言いながら豆 (大豆) をまきます。豆まきの豆を食べると、一年を元気にくらすことができるといわれています。



見て楽しむ 展覧会 「新年を寿ぐ」

12/21 (水) ～ 2/19 (日)

8:30～18:00 2階展示室

観覧料が必要です
※長崎県の大学に行っている留学生、小学生、中学生は0円 (で見ることができます。)

長崎でかかれた絵の中には、長生きや、子どもや孫の幸せを願うなど、おめでたい意味がこめられたものがたくさんあります。この展覧会では、新しい年にあわせて、おめでたい宝物を展示します。また、2023年の「干支」(1年ずつ交代で主役になる動物) になっているウサギの形をした工芸品も見ることができます。



「写真家が捉えた昭和のこども」

「昭和」(1926-1989)は戦争が起こるなど、人の生活が大きく変わった時代です。この展覧会では、写真家がカメラでとった昭和時代の写真を見ることができます。写真には、こどもたちのくらしや、生きる姿が写っています。

12/24 (土) ~ 2/12 (日)

3階展示室 9:30 ~ 18:00

大人: 500円、小学生~高校生: 300円

外国人のためのイベント

外国人のためのギャラリートーク

2階展示室 15:00 ~ 16:30

長崎に住んでいる外国人、外国にルーツを持つ人 ※外国人の参加者と一緒に日本人も参加することができます



「佐世保独楽回し一長崎大会」

1/29 (日) 13:00 ~ 15:00

0円 (で参加することができます) イベント広場 (雨のときは1階エントランス)



教えてくれる人: 佐世保独楽本舗三代目 山本貞右衛門さん

だれでも参加することができます

佐世保独楽は、長崎県佐世保市に昔からある遊びの道具です。この大会では、一番長く独楽を回すことができた人が勝ちます。

※13:00から受付を始めます。受付が終わった後は独楽回しの練習を行います。大会は回す人が集まったときに始めます。※大会用の独楽を当日に貸し出します。

「佐世保独楽絵付け体験 ー今年の干支を描いてみようー」

1/29 (日) 10:00 ~ 11:00 / 14:00 ~ 15:00

1つ900円 (で作ることができます) ※れきぶん限定の料金です 1階講座室

教えてくれる人: 佐世保独楽本舗 山本優子さん

だれでも参加することができます 人数: 各回12人

神様にあいさつをした12種類の動物が、1年ずつ交代で主役になることを「干支」といいます。もようが付いていない佐世保独楽に、2023年の干支「うさぎ」をかきます。



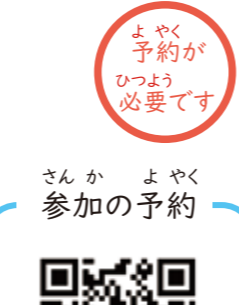
「オリジナルの羽子板作り」

1/21 (土) 11:00 ~ 12:00 / 14:00 ~ 15:00

1つ400円 (で作ることができます) 1階エントランス

だれでも参加することができます 人数: 各回14人

羽子板にはこどもが元気に大きくなるように願いがこめられています。お正月のかざりや、羽子板を使った「羽根つき」という遊びにも使います。何もかいていない木の板に、絵やかざりを付けて羽子板をつくります。



参加できる人数 やさしい日本語: 10人 / 英語: 10人 (早い人順)

テーマ 長崎の歴史について知る

1/14 (土) やさしい日本語

3/11 (土) 英語

1/21 (土) 英語

3/18 (土) やさしい日本語

予約ができます



1月5日から予約ができます



予約が必要です

今から400年くらい前を「江戸時代」といいます。江戸時代の日本では、キリスト教を信じることを禁止していました。日本はキリスト教が広まることを防ぐために、外国との交流を少なくしました。長崎は外国(中国・オランダ)と交流することができるただ一つの場所でした。中国やオランダから伝わった文化や長崎のお祭りなど、長崎の歴史についてお話しします。



長崎歴史文化博物館 Nagasaki Museum of History and Culture TEL 095-818-8366 E-mail info-his@nmhc.jp http://www.nmhc.jp

